



白河市 議会だより

2020

5/1

VOL.58



白河保育園新園舎

〈3月定例会〉

目次

• 3月定例会	2～5p
• 各常任委員会の報告	6～9p
• 一般質問／総括質疑	10～16p
• 議員提出議案・請願・意見書／ 政治倫理審査会の審査結果	17p
• 6月定例会予定／人事案件／議場及び 議会事務局の移転／本会議の会期・傍聴／ 副委員長・委員の選任／編集後記	18p

新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、市議会において「白河市議会新型コロナウイルス感染症対策会議」を設置しました。

市議会としましては、執行機関の迅速な対応を最大限に協力・支援するとともに、市当局としっかりと連携を図りながら、感染拡大防止に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

3月
定例会

令和2年度一般会計予算 311億2千万円

国保など特別会計含む 499億8,458万3千円

3月定例会は、去る2月27日から3月16日までの19日間にわたり開催されました。令和2年度一般会計予算、特別会計予算など当初提出議案39件及び追加提出議案15件を含む54議案について審査し、いずれも原案のとおり可決又は同意しました。

■当初予算の概要

令和2年度一般会計予算は、事務事業等の見直しを行い、歳出の効率化を図るとともに、限られた財源の有効活用に努めながら、これまでの産業や文化の振興、子育て支援やコミュニティの充実に加えて、社会福祉や保育施設、教育環境の充実などに重点を置き、実効性のある予算編成となっております。

1. 魅力ある雇用づくり～安心して働くことができる雇用の創出、産業の活性化～

	事業名	事業費
新規	小規模企業支援資金融資制度事業 地域企業の活性化を図るため、小規模事業者経営改善資金制度の利用者が負担する利子の一部を補助する。	361万5千円
新規	女性活躍推進に向けた多様な働き方実現事業 労働者不足の解消及びライフワークバランスの向上を図るため、子育て世代を中心に働きたくても働けない女性などに対して働く場所や時間を問わない「クラウドソーシング」の活用を提案し推進する。	327万8千円
新規	リノベーションまちづくり推進事業 中心市街地に集積する空き家・空き店舗の活用を通じ、地域コミュニティを再生し、新たな雇用を生み出すリノベーションまちづくりを推進し、民間活力によるまちなかの賑わい創出につなげる。	330万円
新規	農地耕作条件改善事業 農業進出を計画する企業に対し基盤整備・施設建設等の支援を行い、農家出身者の雇用就農の受皿整備と栽培技術の提携や販路の共有等を図る。	8,909万2千円
拡充	農畜産物6次化・ブランド化推進事業 平成22年度より推進している農畜産物の6次産業化及びブランド化について、ブランドに対する信頼や共感を高めるため、「白河ブランド」の基本的な方針、定義等の再構築や認証基準の見直し等を行う。	783万2千円

2. 若い世代の活躍の支援～出産・子育てしやすい環境づくり、社会を生き抜く力を育む教育環境の充実～

	事業名	事業費
新規	妊産婦医療費助成事業 妊娠期の疾病や負傷等は母体だけでなく、胎児への影響も懸念されることから、経済的負担を軽減し、妊婦が安心して出産を迎えられるよう医療費の助成を行う。	1,036万円
新規	ごみ袋支給事業 児童扶養手当受給者に指定ごみ袋を支給し、ひとり親世帯の安定と自立を支援する。	180万2千円
新規	園児の散歩道安全対策事業 幼稚園、保育園周辺は、未就学児を中心とした子どもが日常的に集団で移動する経路であり、特に安全対策を要するため、早急に安全施設整備等を行う。	1,000万円
新規	ICT教育指導力向上推進事業 ICT教育において教員の指導力を向上させるため、専門的知識を有する民間事業者に業務を委託し、指導者向けの人材研修や授業支援などを行う。	191万4千円
新規	「白河、あのこと今」事業 過去に広報紙や市勢要覧等で使用した写真をデジタル化し適正管理するとともに、昔の白河の様子を今に伝える写真を積極的に公開・活用することにより、郷土愛の醸成と本市のPRを図る。	56万7千円
拡充	小・中学校ICT教育環境整備事業 ICTを最大限に活用した21世紀にふさわしい学びの創造を目指し、電子黒板の導入や校務用パソコンの更新などを計画的に推進する。	4,191万9千円

3. 人と地域のつながりの創出～賑わい創出、魅力の発掘・発信、誰もが活躍できる社会の実現～

	事業名	事業費
新規	まちラボ学生プロジェクト支援事業 本市の歴史や自然、食などの地域資源を生かし、白河ファン（関係人口）の増加や地域課題の解決を図るため、大学等のゼミやサークル、まちづくりに関心のあるグループが研究や活動のフィールドとして本市を活用する場合の経費の一部を支援する。	100万円
新規	風月の芸術祭（福島ピエンナーレ2020）開催事業 文化芸術レベルの向上と地域の活性化を図るため、市内の歴史的資源や公共施設、空き店舗等を活用し、幅広い世代の方々に興味・関心の高い現代アートによる芸術祭「風月の芸術祭」を開催する。	300万円

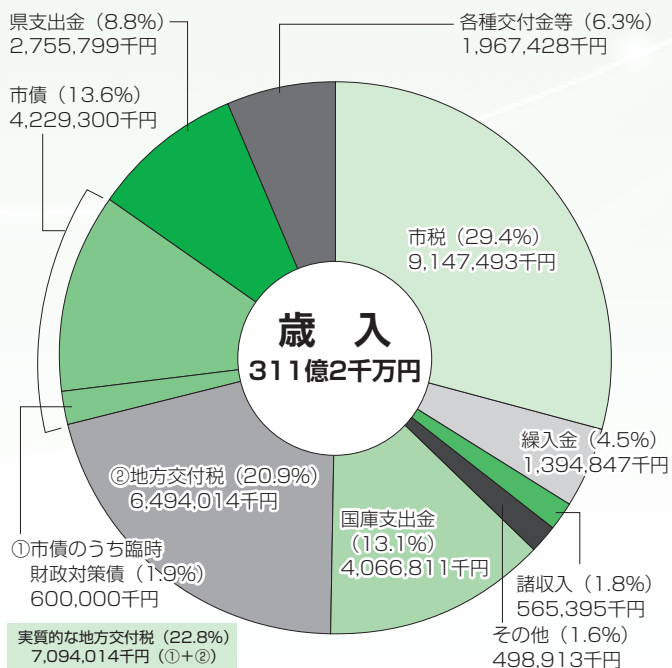
新規	南湖公園魅力再発見事業 南湖を中心としたイベントを実施し、多くの方々に南湖公園の魅力を知ってもらうことにより、誘客を促進する。	513万2千円
新規	小峰城清水門復元整備事業 小峰城主郭部への入り口として、結界の機能を有するなど、重要な役割を持っていた清水門の復元に向け、年次計画で実施する。	827万6千円
新規	(仮称)物産交流センター整備事業 JR白河駅舎に隣接する既存建物を改修し、地場産品の展示販売、地域住民と来訪者の交流の場を提供する施設を整備することにより、まちなかの回遊性を高め賑わいを創出する。	618万8千円
新規	白河QOL向上プロジェクト事業 市民のQOL（生活の質）を長く、良く保ち続けるため、実態調査を行い、医療・介護健診データと関連付け分析する。その結果に基づき、健康支援事業を展開し健康寿命の延伸と医療費の抑制につなげる。	412万3千円
新規	野菜で健康応援プロジェクト事業 健康に対し無関心な方や若年層へ働きかける手段として、カゴメ株式会社とタイアップし、生活習慣病の予防と重症化の予防のため、健康づくり意識の向上や食習慣の改善や減塩などを促す。	119万9千円
新規	地域包括支援センター（大信サブセンター）整備事業 より身近に高齢者にかかわる総合相談窓口を配置し、きめ細やかな高齢者支援を推進するため、大信地域に地域包括支援センターの支所「大信サブセンター」を開設する。	428万円
新規	ひきこもり自立支援事業 ひきこもりの長期化や高齢化に伴い、どこにも相談できず社会的な孤立に追い込まれてしまう状態を防ぐために、関係機関と連携して検討委員会を設置し、本市のひきこもりの実態の把握や具体的な支援策の検討を行うとともに、地域の包括的な相談支援体制を構築する。	963万7千円
新規	予約型乗合タクシー実証実験事業（公共交通） 利便性が高く、効率的な公共交通の導入を検討するため、表郷・大信・東地域において、デマンド方式による乗合タクシーを試験的に運行する。	510万1千円
拡充	地域医療体制支援事業 救急医療、周産期医療、小児医療、脳疾患医療体制を確保し、市民が安心できる医療を提供するため、県南地域の基幹病院である白河厚生総合病院に対し、西白河郡4町村及び那須町と共に助成を行う。	2,240万円
拡充	地域内移動支援事業（公共交通） 運転免許証を持たない高齢者（75歳以上）や障がい者の日常生活を支える移動手段を確保するため、これまで実証実験としてバス及びタクシー運賃の一部助成を行っていたが、これを制度化（本格導入）する。	1,090万5千円
拡充	図柄入り白河ナンバー普及促進キックオフ事業 自動車のナンバーに「白河」の地域名表示と図柄入りナンバープレートを導入することにより、地域に対する愛着心を醸成し、加えて、走る広告塔として広域的な地域振興及び観光振興を促進する。	111万4千円

■ 予算額

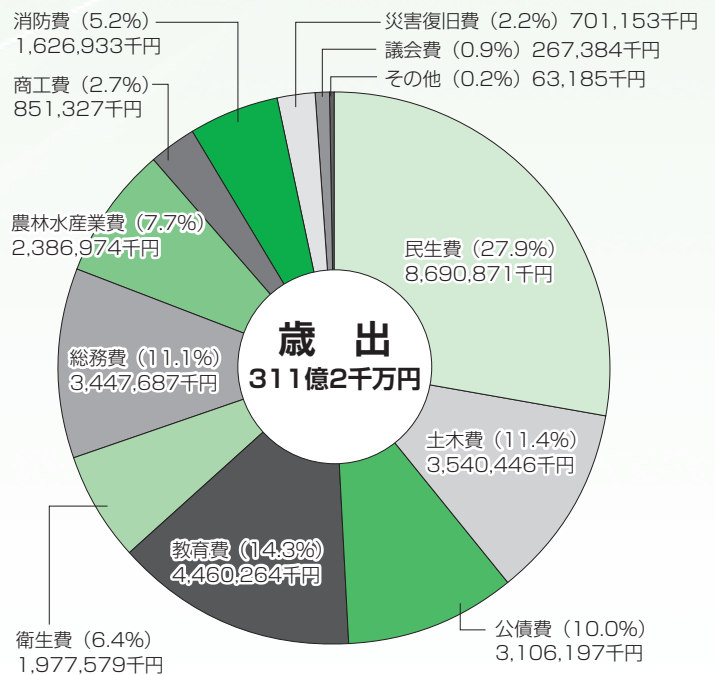
(単位：千円)

会計区分	令和元年度 当初予算 (A)	令和2年度 当初予算 (B)	比較 増 減	
			増減額 (B-A)	伸び率 (%)
一般会計	28,320,000	31,120,000	2,800,000	9.9
特別会計	15,226,463	12,181,128	△3,045,335	△20.0
企業会計	2,587,151	6,683,455	4,096,304	158.3
合計	46,133,614	49,984,583	3,850,969	8.3

〈一般会計 歳入〉



〈一般会計 歳出〉



3月定例会で提出された議案等の審査結果

当初提出議案

議案番号	議案件名とその概要	議決結果
1	280MHz z 防災行政情報配信システム等設置工事請負契約について 工事の請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を得ようとするもの。	令和2年2月27日 原案同意（全会一致）
2	動産の取得について 280MHz防災行政情報配信システムに対応した防災ラジオ等を取得するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を得ようとするもの。	令和2年2月27日 原案同意（全会一致）
3	白河市監査委員条例の一部を改正する条例 地方自治法の一部改正に伴い、引用する条項を整理するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
4	白河市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 福島県人事委員会勧告に準じ、給料表を改定するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
5	白河市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 福島県人事委員会勧告に基づく一般職員の給与改定に準じ、期末手当の支給月数を変更するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（賛成多数）
6	白河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 教職員のための健康管理医について新たに学校健康管理医として位置づけ、その報酬の額を規定するため所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
7	白河市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 福島県人事委員会勧告に基づく一般職員の給与改定に準じ、期末手当の支給月数を変更するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（賛成多数）
8	白河市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 福島県人事委員会勧告に基づく福島県職員の給与に関する条例の一部改正に準じ、住宅手当の上限を引き上げるなど、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
9	白河市職員の退職手当支給に関する条例の一部を改正する条例 会計年度任用職員の退職手当に関する事項を定めるため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
10	白河市中心間ふるさと水と土保全基金条例を廃止する条例 基金を設置した目的と同趣旨の多面的機能支払交付金事業が実施されていることから、当該基金を廃止するため、条例を廃止するもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
11	白河市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、引用する条項を整理するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
12	白河市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項について、調査及び審議するための機関を設置するなど、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
13	白河市生活交通バス条例の一部を改正する条例 高齢者等の生活交通バスの使用料及びその免除規定を改正するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
14	白河市印鑑条例の一部を改正する条例 成年被後見人も所定の要件を満たした場合は印鑑の登録を受けることができるようにするなど、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
15	白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国民健康保険税の税率を引き下げするため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
16	白河市介護保険条例の一部を改正する条例 低所得者に対する保険料の軽減額を増額するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
17	白河市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例 卸売市場法の一部改正及び福島県卸売市場条例の廃止に伴い、引用する条項を整理するなど、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
18	白河市中心小企業・小規模企業振興基本条例 中小企業者等の振興に関する基本理念及び基本的な事項を定め、その振興に関する施策を推進し、本市経済の活性化及び市民生活の向上に寄与することで、持続可能な地域社会の形成を図るため、この条例を制定するもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
19	白河市道路占用料徴収条例及び白河都市公園条例の一部を改正する条例 道路法施行令の一部改正に準じ、道路占用料の額及び都市公園の使用料を改めるため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
20	白河市営住宅条例及び白河市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例 民法の一部改正に伴い、連帯保証人による保証の上限額を定めるなど、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
21	白河市語学指導を行う外国青年の給料等に関する条例を廃止する条例 外国青年の身分が会計年度任用職員と位置づけられたことに伴い、条例を廃止するもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
22	東村優良雌牛振興基金の設置に関する条例を廃止する条例 事業の終了により当該基金を廃止するため、暫定施行条例を廃止するもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
23	本庁舎耐震補強及び大規模改修建築工事請負契約の一部変更について 工事の請負契約の一部を変更するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を得ようとするもの。	令和2年3月16日 原案同意（全会一致）
24	小峰城跡（水懸口北面）石垣修復整備工事請負契約の一部変更について 工事の請負契約の一部を変更するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を得ようとするもの。	令和2年3月16日 原案同意（全会一致）

25	市道路線の認定について 市道路線の認定をするため、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を得ようとするもの。	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
26	令和2年度白河市一般会計予算 予算総額 311億2,000万円	令和2年3月16日 原案可決（賛成多数）
27	令和2年度白河市国有林野払受費特別会計予算 予算総額 187千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
28	令和2年度白河市教育財産特別会計予算 予算総額 868千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
29	令和2年度白河市小田川財産区特別会計予算 予算総額 285万2千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
30	令和2年度白河市大屋財産区特別会計予算 予算総額 77万9千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
31	令和2年度白河市樋ヶ沢財産区特別会計予算 予算総額 47万円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
32	令和2年度白河市土地造成事業特別会計予算 予算総額 4,824万2千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
33	令和2年度白河市国民健康保険特別会計予算 予算総額 56億1,101万2千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
34	令和2年度白河市後期高齢者医療特別会計予算 予算総額 6億6,463万6千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
35	令和2年度白河市介護保険特別会計予算 予算総額 58億2,977万4千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
36	令和2年度白河市地方卸売市場特別会計予算 予算総額 2,230万8千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
37	令和2年度白河市水道事業会計予算 予算総額 22億892万8千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
38	令和2年度白河市工業用水道事業会計予算 予算総額 1億2,728万3千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
39	令和2年度白河市下水道事業会計予算 予算総額 43億4,724万4千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）

追加提出議案

議案番号	議案件名とその概要	議決結果
40	令和元年度白河市一般会計補正予算（第6号） 補正額▲3,230,093千円、予算総額37,341,610千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
41	令和元年度白河市土地造成事業特別会計補正予算（第1号） 補正額▲27,478千円、予算総額22,498千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
42	令和元年度白河市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 補正額▲5,346千円、予算総額5,696,558千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
43	令和元年度白河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 補正額15,440千円、予算総額628,299千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
44	令和元年度白河市介護保険特別会計補正予算（第3号） 補正額▲152,523千円、予算総額5,932,478千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
45	令和元年度白河市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号） 補正額▲28,308千円、予算総額2,142,874千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
46	令和元年度白河市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号） 歳入補正（使用料及び手数料▲564千円、繰入金564千円）、予算総額996,901千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
47	令和元年度白河市個別排水処理事業特別会計補正予算（第4号） 補正額▲17,921千円、予算総額81,177千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
48	令和元年度白河市水道事業会計補正予算（第4号） 資本的 補正額▲361,529千円、予算総額872,483千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
49	令和元年度白河市一般会計補正予算（第7号） 補正額109,761千円、予算総額37,451,371千円	令和2年3月16日 原案可決（全会一致）
50	白河市副市長の選任について 白河市副市長の選任について、地方自治法第162条の規定により、議会の同意を得ようとするもの。	令和2年3月16日 原案同意（全会一致）
51	白河市監査委員の選任について 白河市監査委員の選任について、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を得ようとするもの。	令和2年3月16日 原案同意（全会一致）
52	白河市公平委員会委員の選任について 白河市公平委員会委員の選任について、地方公務員法第9条の2第2項の規定により、議会の同意を得ようとするもの。	令和2年3月16日 原案同意（全会一致）
53・54	人権擁護委員の候補者の推薦について 人権擁護委員の候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるもの。	令和2年3月16日 原案同意（全会一致）

委員会Pick UP

総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第23号

本庁舎耐震補強及び大規模改修建築工事請負契約の一部について

●こんな質問が出ました。

Q 契約金額約8300万円が増額となっているが、どのような理由で増額となったのか

A 当初予定の解体工事では、多数の建物内部亀裂などから、3階コンピュータ室への浸水による住基システムの漏水事故と騒音・振動などによる来庁者への影響が懸念される。そのため、水を使用しない低騒音・低振動の解体工法及び200tの解体仮設工事クレーンに変更するものである。また、地盤改良杭の施工長さに変更が生じたため、



〈本庁舎耐震補強及び大規模改修建築工事〉

杭の施工数量を変更するものである。

議案第40号

令和元年度白河市一般会計補正予算(第6号)

●こんな質問が出ました。

Q 市税・国定資産税などの滞納繰越分の徴収状況はどのようになっているのか

A

市税全体に係わる滞納繰越分の徴収率は、1月末現在で比較すると、平成30年度で15・8%、令和元年度で27・1%となっており、前年度と比較して11・3%向上している。

議案第26号

令和2年度白河市一般会計補正予算

●こんな質問が出ました。

Q 予約型乗合タクシー実証実験事業の内容と周知方法について

A

効果的な公共交通の導入を検討するため、市内のタクシー事業者との協力により、表郷・大信・東地区においてデマンド方式による乗合タクシーを試験的に行うものである。

この事業の周知方法については、市の広報紙はもとより、チラシの配布を行うなど、広く市民に周知を図っていききたい。



〈予約型乗合タクシー〉

●こんな質問が出ました。

Q 選挙管理委員会の常時啓発費とはどのような事業なのか

A

明るい選挙推進協議会の広報活動費で、選挙が適正かつ公平に行われるよう啓発を図るための費用である。具体的には、新しく有権者となる方への啓発事業で、成人式でのチラシの配布や新有権者に対して郵送により啓発を行うものである。

付託された議案は、いずれも原案のとおり同意又は可決しました。

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第14号

白河市印鑑条例の一部を改正する条例

●こんな質問が出ました。

Q 条例改正により成年被後見人へどのような影響があるのか

A 改正により法定代理人が同行し、申請者本人の申請があれば印鑑登録が可能となり、成年被後見人の権利が拡大された。



議案第17号

白河市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例

●こんな質問が出ました。

Q 条例改正により公設地方卸売市場にどのようなメリットが想定されるのか

A 例えば、市内のホテルで食材の急な需要が生じた場合に卸売業者が買受人の資格を持たないホテルにも直接販売する第三者販売が可能となり取引の幅が広がる。



議案第40号

令和元年度白河市一般会計補正予算(第6号)

●こんな質問が出ました。

Q 農地・農業用施設災害復旧事業の最新の進捗状況について

A 補助災害については、1月末に災害査定が終了し、被災エリアを21のブロックに分けて2月末に入札を行い、3月から工事に着手している。



〈災害復旧現場〉

Q 災害廃棄物処理事業で現在どれくらい搬出できない稲わらが残っているのか

A 2月末まで26000㎡の搬出が完了し、現在15000㎡残っているが、4月末までは全て搬出が完了する見込みである。

議案第26号

令和2年度白河市一般会計予算

●こんな質問が出ました。

Q 消防団運営事業の備品購入費でジェットシューターを何台購入し、どのように運用するのか

A 80台を購入し、各庁舎に20台ずつ配備する。山火事での活用を想定し、山火事発生の際に出勤する庁舎の防災担当が現地に搬送することにより、消火活動に役立てたい。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第6号

白河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

●こんな質問が出ました。

Q 新たに規定する「学校健康管理医」とはどのようなものか

A 市長部局で規定する「健康管理医」と区別するために、教職員安全衛生管理規則に基づく「健康管理医」については、「学校健康管理医」に名称を改め、日額報酬であったものを一回あたりの額に変更するものである。

議案第15号

白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

●こんな質問が出ました。

Q 国保税条例の税率改正による影響額について

A 現行税率と比較し、後期高齢者支援金等分で、1489万6千円の減、介護納付分が87万2千円の減となる。

議案第44号

令和元年度白河市介護保険特別会計補正予算（第3号）

●こんな質問が出ました。

Q 介護保険料の改定見通しと基金関係について

A 次期計画策定に際しては、介護二一ズと介護保険料とのバランスを考え、基金を活用すること

により、保険料が過度の負担にならないよう努力したい。

議案第40号

令和元年度白河市一般会計補正予算（第6号）

●こんな質問が出ました。

Q 教育振興費中、西郷村への委託料の単価について

A 白河市から西郷村へ通学する児童生徒の費用を支払うものであり、白河市の学校管理費や教育振興費の費用総額を児童生徒数で割った金額が単価となり、対象児童生徒数に応じて、乗じた金額を西郷村へ委託料として支払っている。

議案第26号

令和2年度白河市一般会計予算

●こんな質問が出ました。

Q 地域学校協働本部事業について

A 東北中学校区域で始めている事業で、地域と学校の調整役として地域コーディネーターを配置し、地域と学校が連携して授業の補助や行事の支援を行うことにより、地域の大人と子供たちが交流する機会を増やし、地域の教育力の向上を図るものがある。

Q 地域自殺対策強化事業の事業内容について

A 職員に対する研修会、ゲートキーパー養成講座、普及啓発事業として、講演会、助産師による小中学校での命の教育及び精神科医師や臨床心理士による心の健康相談などを行っている



付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第40号

令和元年度白河市一般会計
補正予算(第6号)

●こんな質問が来ました。

Q 小峰城歴史館観覧料について、当初見込みより、どのくらい増えたのか

A 当初、観覧者数1万9000人、収入を430万円と見込んでおり、2月末では、2万4773人で120万円の増額である。

議案第26号

令和2年度白河市一般会計
予算

●こんな質問が来ました。

Q 小峰城史跡整備事業について、木造で復元するのは

A 江戸時代に松平定信が城内の櫓や門を実測して作らせた「白河城御櫓絵図」に材料は「櫓」とある。絵図に従って、木造で忠実に復元する



〈小峰城整備基本計画より〉

Q 住宅支援事業については、どのような取り組みを考えているのか

A 主な住宅支援としては、次の7事業について実施する予定である。

①木造住宅耐震診断者派遣事業(事業費62万1千円)

【概要】昭和56年5月31日以前に建築された居住木造住宅で所有者が耐震診断を希望する場合、耐震診断者を派遣します。

【個人負担額】8千円

②木造住宅耐震改修助成事業(事業費100万円)

【概要】耐震診断により耐震基準を満たさないと判断された木造住宅の耐震改修費用の一部を助成します。

【助成額】最大100万円

③三世代同居等支援事業(事業費745万円)

【概要】市内で新たに三世代同居または近居する世帯に対して、住宅の取得や増改築リフォームに要する費用の一部を助成します。

【助成額】最大90万円

④来て「しらかわ」住宅取得支援事業(事業費1280万円)

【概要】県外や市外から本市に移住する世帯に対して、住宅取得に要する費用の一部を助成します。

【助成額】最大200万円

⑤結婚新生活支援事業(事業費180万円)

【概要】若年・低所得の新婚世帯に対して、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る経費(家賃や引越費用、住宅取得費用など)の一部を助成します。

【助成額】最大30万円

⑥ブロック塀等改修助成事業(事業費225万円)

【概要】道路沿いにある建築基準法に適合しないブロック塀等の除去・新設及び改修に要する費用の一部を助成します。

【助成額】最大15万円

⑦アスベスト含有調査助成事業(事業費75万円)

【概要】吹付アスベストが使われている恐れのある住宅・建築物の吹付建材中のアスベストの有無について調査する費用を助成します。

【助成額】最大25万円

付託された議案は、いずれも原案のとおり同意又は可決しました。

一般質問

3月定例会において行われた一般質問について概要をお伝えいたします。

質問議員……………11名

※一般質問とは…

一般質問とは、市の行政全般にわたり、その執行状況や将来の方針などについて報告、説明を求め、疑問を質すものです。

本会議のネット中継及び録画配信を行っております。

各議員の一般質問、総括質疑については、市議会ホームページによりご覧いただけます。

スマートフォンやタブレット等で視聴する場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



北野唯道

Q 市長の施政方針について三本の柱を掲げているが、一つ目の魅力ある雇用の創出について

A 今、情報通信技術の劇的な進展や価値観の多様化などに伴い、新たな可能性が生まれており、それに興味を示し仕事をしたいと思う若者が増えている。

Q 二つ目の若い世代の活躍の支援について

A 結婚出産の希望を叶え、子育てをしながら安心して働けることが大切である。このことから、男女の出会いをサポートするほか、子育ての相談体制を充実するなど、若い世代が社会で活躍できるよう支援していく。

Q 三つ目の人と地域のつながりの創出について

A まちの活性化には、地域コミュニティの中で主体的にまちづくりに関わる人を育てていくことが重要である。そのためには、中高生と市の将来について語り合うしらかわ未来フォーラムなどを考えている。

Q 新型コロナウイルス感染症の医療機関の受け入れ体制について

A 県内には、入院患者に対応している医療機関は6病院、計32床ある。





大花 務

Q 鈴木和夫市長の施政方針

A 渋沢栄一は、地域の特色を活かす振興策の大切さを強く唱えた。又、内閣総理大臣の石橋湛山は、市町村に地租営業税、現在の固定資産税事業税を移譲すべしと地方の重要性を説いている。これを実行するのは、人であるからこそ白河での仕事や暮らしに魅力を増やして定住交流をさらに促すとともに、主体的にまちづくりに関わる人を育てていきたい。そういう思いを強く持って市政運営を行っていく。

いて検討を進め基本計画を策定するものである。

Q 表郷公民館以外3館の建設と分館の見直しについて

A 中央公民館、大信公民館、東公民館は、築45年以上経過している。各公民館の今後の方向性を定める個別計画を来年度までに策定する予定。6分館は、条例にあるが機能を果たしていないので必要性について議論を深めていく。

市民会館跡地利活用計画策定事業10名の検討懇談会について

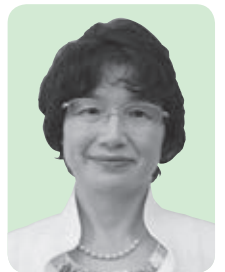
Q

A 市民会館跡地利活用計画策定事業は、今年度に引き続き健康をテーマにした行政機能と民間機能による複合施設の整備につ

いて検討を進め基本計画を策定するものである。



〈白河市中心中央公民館〉



佐川 京子

Q 複合施設の概要と駐車場の確保について

A 市民アンケートの結果や検討懇談会委員の意見・提案を基に、整備コンセプト、導入機能の方針を定め、規模、配置、概算事業費の検討を行い、「基本計画」の素案を取りまとめ6月中の策定を目指していく。

Q Suicaカードを白河駅、新白河駅でも使えるように要望してほしい

A 引き続き、Suica対応機器の整備促進及びエリア拡大について要望していく。

Q 学校の統廃合について責任ある行動をとってほしい

A 検討にあたっては、児童生徒の教育条件の改善に主眼を置くべきと考えている。保護者、地域、学校支援組織などの協力を得ながら、丁寧に進めていく。

Q 中央公民館と武道館を旧宝酒造跡地に建設してほしい

A 両施設とも公共施設等総合管理計画に従い、来年度中に策定する個別計画で今後の方向性を検討していく。

Q 中央公民館と武道館を旧宝酒造跡地に建設してほしい





藤田 文夫

A 提案いただいた内容や他の機

関も視野に入れ、引き続き、有効な活用方法を考えていく。

Q 年度途中の退職について

年度途中8名の退職後、業務に支障がでないような対策を講じたのか。また、4月以降どのように対応していくつもりか市の考えを伺う

A 早期退職者への対応としては、

課内係内において当面の業務量や緊急性なども勘案し業務分担を見直すとともに、臨時職員の募集や人事異動により職員を配置している。本年4月1日採用予定者のうち、3名を前倒しで採用したところである。令和2年度の早期採用を目的とした職員採用候補者試験を実施する。

Q 表郷庁舎への本庁機能移転について

耐震化工事が終了し、本庁舎に戻った場合、駐車場や会議室が慢性的に不足状態となり、また執務スペースが狭いなどのデメリットが考えられる。これらの問題解決と表郷庁舎の有効活用の観点から市の考えを伺う



〈表郷庁舎〉

Q インバウンドについて

小峰城や山本不動尊など9市町村の観光施設を素材にしたPR動画を英語や中国語など4ヶ国語で制作し、YouTubeやツイッターなどで積極的に発信している。さらに、隣接の那須町や那須塩原市、下郷町など、それぞれに魅力を持った自治体とも連携しながら、インバウンドも含めた交流人口の拡大に努めていく。

A 令和2年度は、引き続き帯曲

輪の整備を進めるとともに、本丸から田町方面にのびる丘陵北面石垣を堪能できるように、樹木の伐採を計画している。清水門は、城内でも最大規模を誇る櫓門であり、荘厳な櫓門の姿を復元することで、城郭の威容を示すとともに、文化財としての価値がさらに高まるものと考えられる。

Q 小峰城清水門復元整備を含めた今後の小峰城全体の整備について

小峰城清水門復元整備を含めた今後の小峰城全体の整備について



〈小峰城清水門〉

室井 伸一





石名国光

Q 白河市の将来を見据え市長の強いリーダーシップのもと「市民主役の市政」で「白河に住みたい」と言われるまちに向け、市長の考えを伺う

A 日本は、今急速な少子高齢化に伴い、市場規模の縮小や地方活力の衰退など、非常に難しい問題に直面しているが、国は明確な処方箋を示していない。そこで、自らが先頭に立ち、市民や各団体と手を携え、魅力的に住みよいまちづくりを進めていく。

Q 小峰城清水門の復元や東側丘陵樹木伐採で城全体が、大きく変貌し名城として位置付けられると考える。これからの小峰城の活用策を伺う

A 壮大な石垣や城郭を見ていただき、小峰城の魅力を一層向上させるため、清水門の復元や東側丘陵北面の石垣の顕在化にも取り組み、名城としての佇まいを感じることが出来る場を創出していく。

Q 南湖公園魅力再発見事業について伺う

A 南湖公園の魅力を広く認知してもらうための自然や歴史を満喫するイベントの開催と松平定信と渋沢栄一をテーマに講演会を実施していく。



〈南湖公園〉



高橋光雄

Q 日本資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一は、新一万円札の肖像に決まっている。また、渋沢を主人公とするNHK大河ドラマが、来年から放映予定となっている。我が白河藩主松平定信公と渋沢翁との関係は、切っても切れない深いものである。一方、本市は南湖公園・南湖神社の周年、国道294号白河バイパスの開通、小峰城清水門復元、さらに定信公生誕・没後の周年等、向こう10年近くは観光振興材料が目白押しとなっている。

国道294号白河バイパス完成・清水門復元と合わせて、定

信公と渋沢翁の関係を軸に、小峰城・南湖公園・白河の関等のキャンペーン構想及びその実行委員会創設について、市長の見解を伺う

A 定信公の七分金積立と福祉政策を高く評価し、こよなく敬愛した渋沢翁が脚光を浴びているこの機を逃さず、渋沢翁との関わりを含め、本市の魅力を発信していく。また、市全体で盛り上げていくため、市民や各種団体が構成する実行委員会の立上げも検討する。



〈松平定信公〉



大竹 功一

Q 新型コロナウイルスの予防対策について、どのように考えているのか

A 現在、国や関係機関の情報をもとに、保健だより等を通じ、市民への周知に努めている。今後も速やかに情報を収集し、啓発に努めたい。

Q 今回、表郷・大信・東地域で導入される予定のデマンドタクシーについて説明を



Q 緊急通報システムの内容と現状について伺いたい

A 対象は、65歳以上の高齢者一人暮らし及び寝たきり、または認知症の高齢者を抱える世帯等で現在145世帯である。



柴原 隆夫

Q 白河実業高校の農業科が修明高校へ統合される。社会の進展とともに、中学生が希望する進路も大きく変わり、他の学科が大幅に定数割れするなかで農業科は10年以上も定数を満たしている。一方の修明高校の農業系は、定数割れが続いており、会社の合併でも資本の大きい方に集約されるのが普通である。10年以上も定数を満たしている学校がそうでない学校へ集約されることは不自然である。また、遠距離通学が余儀なくされ、これまで学べた農業が学べなくなる状況が起こりえる

A 高校改革懇談会等で県教育委員会に要望していく。

Q 白河高校と旭高校は、定数削減が行われ、両校の合格基準が大幅に高くなり、削減前の点数

A 志願者にとっては、別の志望校を選択せざるを得ないなど、厳しい状況になっているかと思われる。

なら文句なく合格できる中学生が多数いる。定数削減は「ゆるやかな均衡」を目指すもので、合格基準を大幅に引き上げることではなかったはずである



〈農業科実習農場〉



須藤博之

Q 本市を中心とした新たな広域連携について

A 甲子トンネルの開通により、下郷町や南会津町等との交流、栃木県の大田原市、那須塩原市、那須町とは属している県は違いますが、実質的に生活圏、経済圏を共にしており、歴史的・文化的にも関係が深く、観光資源としての高い知名度、病院への受入調整などの面から連携による効果は高いため、今後は絆を深め相互に資源と知恵を持ち寄り、魅力の発信、共通する課題の解決に向け、地域全体として取り組んでいく。

Q 事業承継支援について

A 経営者の高齢化等に伴い、市内でも廃業する事業者が増加傾向にあり、今後、福島県事業引継ぎ支援センターなどと連携対応していく。

Q しらかわセーフロード事業概要について

A 地域の通行障害や騒音発生解消のための側溝改修事業で、改修必要延長は約13kmで、2年度は特に緊急性を要し、景観に配慮が必要な会津町・郭内約2.5kmを行う。



〈会津町地内〉



深谷弘

Q 入札による電気料金削減
電力の自由化で、電力会社を自由に選べる時代になった。市の施設における電気料金も、電力会社変更で削減できる。年間電気料金、契約先はどうなっているか

A 平成30年度電気料金総額は2億3148万円余り。契約者は、電力の自由化に伴い、施設ごとの見直しを行っており、平成30年度は東北電力、須賀川ガスの2社である。

Q 二本松市では、33施設の電気使用料金を入札にかけ、約7560万円(27・8%減)の削減効果を見込んでいる。市でも入札による電気料金削減に取り組むべきではないか

A 電力会社の選定方法等は事務手続きのルール化を図りながら進めていきたい。

Q 電力会社変更による、経費削減効果はどれくらいか

A 平成29年、新電力2社と東北電力の3社で本庁舎電気料金の見積もり合わせを行い、須賀川ガスが安価であるため、6月に契約変更した。経費削減効果は



須藤博之

深谷弘

Q 教育多忙化対策事業について

A 中学校の部活動に指導員を配置し、部活動の適正化を進め、

教職員の働き方改革、部活動の質的向上を図ることを目的とし、報酬は1時間当たり1600円である。校長や各種団体から推薦された方を教育委員会が選考し、資格は教員免許を持つ者が教育委員会で適任と認めた場合の任用で、5月1日から2月末日までの10ヶ月の任用期間となり、2年度は5人を予定している。今後は、体育協会、文化団体と連携を強化し、人材の確保に努め、事業を継続、拡充を進めていく。

4月に団員の募集を行い、5月から10月にかけて約14回練習を重ね、11月7日開催の「しらかわ音楽の祭典」で初演奏を予定している。弦楽器、管楽器などのグループごとに指導者を配した指導体制を予定し、人選を進めていきたい。

Q 農地耕作条件改善事業とは

当初予算に8909万2千円計上されている。どのような事業なのか

A 双石地区に進出を予定している法人に対し、敷地造成の支援を行う国の補助事業である。この法人は、国内に6カ所、海外に1カ所の農場を持ち、最先端の技術により高品質・高収益作物の栽培を行い、全国約90社の大規模小売店等との取引実績がある。計画では、双石地区に大規模園芸施設を建設し、社員・パートタイマーで50〜100名の雇用を見込んでいる。

A 「健康」をテーマに、行政機能と民間機能による複合施設整備の基本計画を策定するためのもの。昨年委託事業者を決定、民間委員による「検討懇談会」を3回開催。今後、月1回の「懇談会」で意見・提案を集約し方針を決める。

Q 市民オーケストラ設立準備事業について

業について

A 令和3年5月の設立に向け、

計画的に取り組んでいる。今年



Q 市民会館跡地活用計画策定について

当初予算に1239万5千円計上されている。その内容、スケジュールはどうなっているか



議員提出議案・請願・意見書

今定例会において審査された議員提出議案、請願、意見書について、その内容と結果についてお知らせいたします。

議員提出議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
意見書案第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	令和2年3月16日 原案可決(全会一致)
議案第1号	白河市議会委員会条例の一部を改正する条例 男女共同参画に考慮した議会活動を促進する規定を制定するとともに、議員の疾病等における議会の欠席等を制定するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決(全会一致)
議案第2号	白河市議会会議規則の一部を改正する規則 男女共同参画に考慮した議会活動を促進する規定を制定するとともに、議員の疾病等における議会の欠席等を制定するため、所要の改正を行うもの。	令和2年3月16日 原案可決(全会一致)
議案第3号	白河市議会傍聴規則の一部を改正する規則 本庁舎耐震補強及び大規模改修工事の竣工予定日変更に伴い、特例期間の延長の改正が必要となったため、所要の改正をするもの。	令和2年3月16日 原案可決(全会一致)

請願議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
請願1 請願者 日本労働組合総連合会 福島県連合会白河地区 連合会議長	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願 1. 福島県最低賃金は、毎年年率3%程度を目途に引き上げをはかること。また2019年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針」の「より早期に全国加重平均1000円になることを目指す。」とした方針に基づき、相応の引き上げを行うこと。 2. 福島県内の労働力確保、人口流失抑制・防止を見据えた金額とすること。 3. 消費増税による物価変動の状況を見極め、増税に見合った最低賃金を担保すること。 4. 中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備すること。 5. 一般労働者の賃金引き上げ時期を踏まえ、福島県最低賃金の改定諮問時期を可能な限り早め早期の発効に努めること。	令和2年3月16日 採決(全会一致)

政治倫理 審査会の 審査結果

「白河市議会議員政治倫理条例」の規定に基づき、戸倉宏一議員が令和元年10月14日歌謡発表会においてご祝儀を渡した行為が政治倫理基準に違反する疑いがあるとして、令和元年12月19日付で市民8名から審査請求書が提出されました。これを受け、本市議会では、委員6名で構成する「白河市議会議員政治倫理審査会」を設置し、令和2年1月9日から2月17日までの間に4回開催され、2月27日付けで審査結果報告書が議長に提出されました。議長は、同日の本会議に諮り、白河市議会として戸倉宏一議員に対し、全会一致（戸倉宏一議員は除斥）で議場での謝罪と議会における役職辞任の勧告をすることに決めました。

審査結果報告書の概要

○審査請求の対象となる議員の氏名 戸倉宏一議員

○審査の結論

- (1) 政治倫理基準の違反行為の有無について
- ①白河市議会議員政治倫理条例第3条第1号（市民全体の代表者として、名誉と品位を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して不正の疑惑を持たれる恐れのある行為をしないこと。）及び②同条例第3条第10号（飲食物の提供等社会通念上疑惑を持たれる恐れのある行為をしないこと。）に該当する行為があったと判断し、政治倫理基準に違反するとの結論に至った。
- (2) 必要と認める措置と勧告
- 白河市議会において講じる措置については、今回の戸倉宏一議員の事案は市民の負託を受けた市議会議員が市民全体の代表者として、名誉と品位を損ない、白河市議会への信用を失墜させていることに対し、公開の議場において謝罪し、議会における役職を辞任すべきとの勧告とする。

謝罪文

令和元年11月の月刊誌掲載報道をはじめといたしまして、白河市民の皆様、そして、白河市議会議員の皆様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことに対しまして、改めてお詫びを申し上げます。私自身、公人としての認識の甘さ、議員としての慎重さに欠けていたことを深く反省しております。ただ今の議決のとおり、建設水道常任委員会の副委員長、並びに議会運営委員会の委員及び議会報編集委員会の委員の職を辞任いたします。以後、更なる議員倫理を自覚し、議会の品位を汚すことの無いよう努めて参ります。

役職辞任

戸倉宏一議員から令和2年2月27日付で建設水道常任委員会の副委員長、議会運営委員会の委員、議会報編集委員会の委員の辞任願が提出され、委員会、本会議においてそれぞれ辞任の許可がされました。

6月定例会日程のお知らせ (予定)

(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
6/7	8	9	10	11 定例会開会 (午前10時開議)	12 議案調整	13
14	15 議案調整	16 議案調整	17	18 一般質問 (午前10時開議)	19	20
21	22 各常任委員会 (午前10時開議)	23 議事整理日	24 定例会閉会 (午前10時開議)	25	26	27

※この日程は、3月16日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には6月11日の定例会開会日に決定します。
電話 0248-22-1111 内線 2411・2412

○白河市副市長の選任に同意

副市長 (敬称略)

つむらや みつあき
圓谷 光昭 (郭内)

任期：令和2年4月1日～令和6年3月31日

○白河市監査委員の選任に同意

監査委員 (敬称略)

かたやま たくおう
片山 拓央 (天神町)

任期：令和2年4月1日～令和6年3月31日

○白河市公平委員会委員の選任に同意

公平委員会委員 (敬称略)

ふじた ともかず
藤田 智一 (東千田)

任期：令和2年4月1日～令和6年3月31日

○人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員 (敬称略)

おおやま かおる
大山 郁 (表郷小松)
えんどう あいこ
遠藤 愛子 (東下野出島)

任期：令和2年7月1日～令和5年6月30日

//

議場及び 議会事務局の移転

市役所本庁舎耐震補強工事等に伴い、議場及び議会事務局が表郷庁舎(2・3階)に一時的に移転しています。

●移転期間 令和2年10月末 (予定)

■本会議の会期・傍聴

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期日程を変更する場合があります。また、本会議の傍聴についても、自粛をお願いする場合がありますので、傍聴にお越しの際には、事前に議会事務局までご確認ください。

副委員長・委員の選任

- ▽建設水道常任委員会
副委員長 山口耕治
- ▽議会運営委員会
委員 荒井寿夫
- ▽議会報編集委員会
委員 山口耕治

編集後記

これまで白河第二小学校の近くで運営されてきた白河保育園が、老朽化に伴い、新白河二丁目に移転新設されました。園舎も大きく、園庭も広くなり、定員もこれまでの60人から120人となり、待機児童解消に向け大きく前進いたしました。子どもたちの輝く笑顔であふれるような保育園になってほしいものです。
(担当 室井)

議会報編集委員



吉見 優一郎 高島 裕 柴原 隆夫 山口 耕治

◎水野谷正則 ◎室井 伸一

(◎委員長 ◎副委員長)

